

和歌山県エコファーマー 優良事例集



平成26年10月
和歌山県農林水産部
農業環境・鳥獣害対策室

エコファーマー認定により有利販売！ 「愛菜てまりっこしかごなかのしま店 の取組」

JAわかやま農産物直売所 愛菜てまりっこ しかごなかのしま店(和歌山市)

構成員数	64名	取組作物	果樹類、野菜類	取組面積	4 ha
------	-----	------	---------	------	------

【活動内容】

- エコファーマー生産者の農産物を専用ブースで販売。
- 安全・安心な農産物を消費者にPRし、農産物の販売促進、有利販売を目指す。
- 店頭エコファーマーののぼりと店内にポップを設置し、消費者にエコ農産物をPR。



【エコファーマー取組への経緯】

- 平成16年3月、農直部会を設立
- 平成24年11月、愛菜てまりっこ しかごなかのしま店 移設
- 平成26年7月、会員20名がエコファーマーの認定を取得
- 平成26年9月、エコファーマー専用ブースを設置し、エコ農産物の販売を開始
- 現在、他の4店舗においてもエコファーマーの取組が拡大中

【エコファーマー取組の概要】

- 土づくり技術
堆肥を用いた土づくり。
- 化学肥料低減技術
有機質肥料（わかやま配合等）の施用。
- 化学合成農薬低減技術
防虫ネット、生物農薬やマルチの利用、機械除草、耕種的防除に取り組むことで、化学合成農薬の使用量を削減。

連絡先 農直部会（事務局 JAわかやま 販売部 直売課）
〒640-8305 和歌山市栗栖642 TEL:073-473-9403、FAX:073-473-8782

露地野菜のエコファーマー ～学校給食センターへも納入～

畑 敏之(紀の川市)

戸数	1戸	取組作物	だいこん、ほうれんそう、こまつな、はくさい	経営面積	90 a
----	----	------	-----------------------	------	------

【取り組みのきっかけ】

消費者(生協を利用するお母さんたち)の「安心なものをつくってほしい」との要望を聞き、安全・安心でおいしい野菜を自分だけでなく、多くの人に食べてもらいたいと考えたことがきっかけで環境保全型農業に取り組みはじめた。

【主な販路】

直売所、スーパー、学校給食センター



【エコファーマー等の取組への経緯】

- 平成 9年～18年 那賀町有機実践グループ副会長
- 平成14年～現在(平成26年) 学校給食へ納入
- 平成18年 エコファーマー認定取得
- 平成18年～現在(平成26年) 紀の川市環境保全型農業グループ会長

【エコファーマー取組の概要】

○土づくり技術

地元で手に入る草堆肥を施用し、秋冬野菜の前作の作物残さ(スイートコーン)を鋤込み有機物を補給するとともに、輪作することで連作障害発生を防ぐ土づくりを行っている。

○化学肥料低減技術

元肥は有機質のみで窒素過剰にならないように配慮している。

○化学合成農薬低減技術

過剰施肥を避け、中耕をこまめに行うことで雑草や害虫の発生密度を低く抑えるとともに、防虫ネットやBT剤を使用するなどして化学合成農薬の使用を削減している。

組合員全員がエコファーマー！ 美味しいぶどうと環境にやさしい観光農業をPR

御所観光組合(かつらぎ町)

戸数	12 戸	取組作物	ぶどう	取組面積	5.2 ha
----	------	------	-----	------	--------

【活動内容】

- ホームページにおいてエコファーマーであることをPR。
- 県エコファーマーマークは、化粧箱やパンフレットなどに活用し、美味しいぶどうと環境に配慮した観光農業のPRに利用されている。

【主な販路】

観光農園(ぶどう狩り)、直売所、宅配、インターネットなど



【エコファーマー取組への経緯】

- 昭和61年、御所観光組合を設立
- 平成11年、観光案内所を設置
- 平成18年、組合員全員がエコファーマーの認定を取得
- 平成23年、エコファーマーの再認定を取得

【エコファーマー取組の概要】

- 土づくり技術
土壌診断結果に基づき、適量の牛ふんおがくず堆肥を施用。
- 化学肥料低減技術
有機質含有量の高い肥料を選んで施用し、化学肥料の使用割合を削減。
- 化学合成農薬低減技術
機械除草により除草剤を使用しない。
雨除け栽培による病害虫防除回数の削減。

連絡先 御所観光案内所

〒649-7153 伊都郡かつらぎ町大字御所63-10 TEL:0736-22-7737、FAX: 0736-22-7737

生協産直としてみかんを販売
安心・安全が消費者への**信頼**に！
 組合員の生産意欲も向上！

農事組合法人 有田コープファーム(有田川町)

構成員数	87名	取組作物	みかん、中晩柑類	取組面積	57.8 ha
------	-----	------	----------	------	---------

【活動内容】

- 生協産直として販売。
- エコファーマー認定制度を活用することで、消費者に環境に優しい農業への取組と安心・安全をアピールでき、販路確保につなげている。
- 組合の栽培管理基準を設けて、組合員に防除情報を定期的に配付。
- 栽培管理表の内容を確認し、実際の使用量と削減率を確認。
- 有田地域環境保全型農業研究会に参加し、環境への負荷軽減に役立つ知識や情報を積極的に獲得している。

【主な販路】

生協、大手量販店、インターネット



有田コープファーム外観



組合員



草生栽培風景

【エコファーマー取組への経緯】

- 昭和51年 有田農民組合産直部を設立
- 平成元年 法人格を取得
- 平成16年 100名がエコファーマー認定を取得
- 以降、全組合員がエコファーマー認定取得を目指している

【エコファーマー取組の概要】

- 土づくり技術
堆肥を用いた土づくり
- 化学肥料低減技術
県慣行基準の30%削減。
- 化学合成農薬低減技術
県慣行基準の30%削減。
除草剤に頼らない雑草防除（草生栽培や機械除草）に取り組んでいる。

連絡先 農事組合法人 有田コープファーム

〒643-0846 有田郡有田川町田口161-1 TEL:0737-52-3331、FAX:0737-52-4411

県内産直店初！ エコファーマー農産物コーナーを開設！

JA紀州ファーマーズマーケット さわやか日高(日高町)

戸数 (構成員数)	49名	取組作物	果樹類、野菜類、 米、花き類	取組面積	11.7 ha
--------------	-----	------	-------------------	------	---------

【活動内容】

- 直売所内に、県内産直店で初のエコファーマー農産物コーナーを開設。
- 商品にエコファーマーのシールを貼り、コーナーにはのぼりを立てて、エコファーマー農産物をPRしている。
- Aコープひだか・さわやか日高のチラシの中に、エコファーマーコーナー設置店との内容を掲載し、消費者の認知度向上に努めている。

【主な販路】

- ・直売所内での販売。



【エコファーマー取組への経緯】

- 平成17年、JAグリーン日高(現在はJA紀州)ファーマーズマーケットさわやか日高がオープン。
- 平成22年11月、県内産直店で初となるエコファーマーコーナーを開設。
- 和歌山県エコファーマーシンボルマークを使用し、のぼり、パネル、シールを作成。

【エコファーマー取組の概要】

- 土づくり技術
牛ふん、鶏ふん、もみ殻や米ぬかななどを原料とした堆肥を施用。
- 化学肥料低減技術
有機質含有量の高い肥料を選び、化学肥料の施用量を低減。
- 化学合成農薬低減技術
抵抗性品種の導入や抵抗性台木への接ぎ木、マルチ被覆や機械除草により、化学農薬・除草剤の使用を削減。

連絡先 JA紀州ファーマーズマーケットさわやか日高
〒649-1211 日高郡日高町荊木5番地 TEL:0738-63-1333

**梅酒メーカーとの取引からスタート！
 県特別栽培農産物の認証も取得し、販路拡大！
 目標は全会員がエコファーマー取得！**

JA紀南 梅特別栽培研究会(田辺市・上富田町)

戸数 (構成員数)	43名	取組作物	うめ	取組面積	19.9 ha
--------------	-----	------	----	------	---------

【活動内容】

- 環境に優しく魅力ある農業の実践と、収穫時期にこだわり「南高梅本来の品質」を追求。
- 県エコファーマーシンボルマークを活用し、箱やチラシへ記載してPR。
- 梅酒メーカーとの取引により取組が発展し、近年では大手量販店に売り込みを行い、販路拡大につなげている。

【主な販路】

梅酒メーカー、スーパーなど



【エコファーマー取組への経緯】

- 平成9年、梅減農薬栽培研究会を設立
- 平成14年、エコファーマー認定を取得開始。
- 平成14年、和歌山県特別栽培農産物認証を取得。
- 平成21年、梅特別栽培研究会に名称変更。
- 現在(平成26年)、39人がエコファーマーの認定を取得。

【エコファーマー取組の概要】

- 土づくり技術
 土壌診断に基づいた土壌改良の実施。
- 化学肥料低減技術
 有機質100%肥料の使用。
- 化学合成農薬低減技術
 剪定による通風改善、性フェロモン剤の使用などにより、必要最低限の薬剤防除に努めている。また除草剤を使用せず、草生栽培や機械除草により雑草防除を行うとともに、有機物を土壌に還元している。

連絡先 JA紀南 梅特別栽培研究会(事務局)JA紀南指導部 営農指導課
 〒646-0028 和歌山県田辺市高雄三丁目22番19号
 TEL:0739-441-2905・FAX:073-441-2909

ゆずの搾汁残渣を堆肥化し、 資源循環による環境に優しい農業を実践！

農業生産法人 古座川ゆず平井の里(古座川町)

構成員数	95名	取組作物	ゆず	取組面積	3 ha
------	-----	------	----	------	------

【活動内容】

- ゆずの加工過程で出る搾汁残渣を全て堆肥化し、ゆず栽培ほ場に還元。
- 特別栽培の認証も取得したゆずは、黄玉で大手量販店のPB商品として取引され、有利販売につなげている。

【主な販路】

- 青果物: 生協、スーパー
- 加工品: 百貨店、スーパー、直売所、インターネット等



【エコファーマー取組への経緯】

- 平成16年に法人設立。
- 平井地区のゆず栽培は古くから一部生協向けなどに出荷されてきた歴史があり、設立前から環境に優しい農業に取り組む。
- 平成23年に化学肥料及び化学合成農薬の使用を県の慣行基準の半分以下に設定した独自の栽培指針を策定。
- 同年、エコファーマーの認定を取得。

【エコファーマー取組の概要】

- 土づくり技術
ゆず搾り粕堆肥を施用。草生栽培としてナギナタガヤを導入し、緑肥として還元。
- 化学肥料低減技術
有機質含有量の高い肥料を選んで施用。
- 化学合成農薬低減技術
草生栽培による除草剤の使用低減。
マシン油やICボルドーを中心とした薬剤防除により県慣行基準の半分以下に低減。

連絡先 農事組合法人 古座川ゆず平井の里
〒649-4563 和歌山県東牟婁郡古座川町平井469
TEL: 0735-77-0123、FAX: 0735-77-0506